



★ トリビア (英 trivia、「つまらない何の役にもたない雑知識」の意)

★ PC 同好会の都度折々につまらないネタをご提供 (ネタのない時はパスします) ご提供: 北村

丹那トンネル

丹那トンネル工事殉職者慰霊碑→



◎ 鉄道の大動脈、東海道本線を飛躍的に変えた難工事の「丹那トンネル」の歴史です。

★ バックナンバー (発行記録) (バックナンバー再発行ご希望の方は北村にお申し出ください)

- 2012年度: No.1: (でんでら唄) No.2: (フルベッキ写真) No.3: (平安京結界図) No.4: (外国地名漢字表記)
- No.5: (苗字ルーツ) No.6: (和製漢語) No.7: (五畿七道) No.8: (皇室旗軍旗軍艦旗) No.9: (難解姓氏) No.10: (日本の仏教宗派)
- No.11: (陸軍部隊) No.12: (海峡の国際法) No.13: (海軍艦隊) No.14: (鉄道唱歌東海道) No.15: (たこ焼き) No.16: (阪急電車)
- 2013年度: No.17: (アホ・バカ) No.18: (エスカレーター) No.19: (江戸八百八町) No.20: (浪速八百八橋) No.21: (陸軍墓地)
- No.22: (大阪の電車) No.23: (お好み焼き) No.24: (鉄道の広軌と狭軌) No.25: (中華料理) No.26: (旧暦と新暦) No.27: (落語家)
- No.28: (プロ野球球団) No.29: (仏像の色々) No.30: (交通通行の左右) No.31: (50~60周波数) No.32: (日本の神様) No.33: (元号)
- No.34: (ホルモン・ドテ) No.35: (天皇・皇帝・王) No.36: (歌舞伎の系譜) No.37: (日本のビール) No.38: (映画の歴史) No.39: (県名の由来) No.40: (日本酒)
- 2014年度: No.41: (陶器と磁器) No.42: (三百藩) No.43: (焼酎) No.44: (国鉄の本線名) No.45: (ユニオンジャック)
- No.46: (ワイン) No.47: (日本刀) No.48: (世界三大宗教) No.49: (路面電車) No.50: (日本の洋食) No.51: (諜報) No.52: (関東と関西)
- No.53: (米海兵隊) No.54: (支那の語源) No.55: (薩摩と長州) No.56: (共産主義) No.57: (ノルマンディ) No.58: (龍馬暗殺)
- No.59: (憲法制定) No.60: (朝鮮島半島分断) No.61: (源氏と平家) No.62: (スパイ・ゾルゲ) No.63: (世界の酒) No.64: (東大と京大)
- 2015年度: No.65: (花押) No.66: (西郷隆盛の顔) No.67: (歴史上の国旗) No.68: (おでん) No.69: (幕末の開港) No.70: (寿司)
- No.71: (ゼロ戦と新幹線) No.72: (醤油) No.73: (東京お台場) No.74: (天ぷら) No.75: (元寇) No.76: (参謀本部と軍令部) No.77: (蒸気機関車)
- No.78: (日本の城) No.79: (満洲) No.80: (町奉行) No.81: (本能寺の変) No.82: (旧国名の由来)
- No.83: (軍用機国籍標示) No.84: (日本の貨幣の歴史) No.85: (朝鮮半島) No.86: (シベリア出兵) No.87: (大坂の陣 400 年)
- No.88: (お雑煮)
- 2016年度: No.89: (オレンジ計画) No.90: (すき焼き) No.91: (スエズ・パナマ) No.92: (焼き鳥) No.93: (台湾) No.94: (うなぎ)
- No.95: (太平洋戦争の呼称) No.96: (お茶) No.97: (アングロサクソン) No.98: (コーヒー) No.99: (祇園山笠) No.100: (二十四節気)
- No.101: (海軍乙事件) No.102: (昆布と鰹) No.103: (神戸事件と堺事件) No.104: (居酒屋) No.105: (北海道分割計画) No.106: (井)
- No.107: (陸士と海兵) No.108: (日本の伝統色) No.109: (地下鉄) No.110: (早稲田と慶応) No.111: (幻の大坂遷都) No.112: (琉球・沖縄)
- 2017年度: No.113: (プロ野球のサイン) No.114: (ふぐ料理) No.115: (暗号) No.116: (肉じゃが) No.117: (右前と左前)
- No.118: (神戸と横浜) No.119: (航空母艦) No.120: (新海田食道街) No.121: (憲兵) No.122: (欧州アジア系の国) No.123: (忍者)
- No.124: (千島と樺太) No.125: (靖国神社) No.126: (地理上のインドの地名) No.127: (潜水艦) No.128: (うどんとそば)
- No.129: (盧溝橋事件) No.130: (朝鮮と焼肉) No.131: (日清戦争) No.132: (鍋料理) No.133: (日本列島の地政学)
- No.134: (千支と十千十二支) No.135: (日露戦争) No.136: (戒厳令)
- 2018年度: No.137: (漢字) No.138: (ラーメン) No.139: (戦国大名) No.140: (二・二六事件) No.141: (摂政と関白) No.142: (満洲事変)
- No.143: (洛中洛外) No.144: (ロシア革命) No.145: (守護と地頭) No.146: (鳥羽伏見の戦い) No.147: (戊辰戦争)
- No.148: (日本の財閥) No.149: (室町の文化) No.150: (マンホール蓋) No.151: (西南戦争) No.152: (ナンバープレート)
- No.153: (日本と日の丸) No.154: (餃子と焼売) No.155: (曜日由来) No.156: (文字の縦書き横書き) No.157: (和菓子)
- No.158: (〇〇の守) No.159: (尼崎電話局番 06) No.160: (食品サンプル)
- 2019年度: No.161: (大使館と領事館) No.162: (九州) No.163: (尊王と佐幕) No.164: (銃と砲) No.165: (戦国の旗指物)
- No.166: (左翼と右翼) No.167: (日本の伝統文様) No.168: (カレー) No.169: (日本の甲冑) No.170: (阪急電車Ⅱ) No.171: (中国共産党)
- No.172: (家紋) No.173: (関東軍) No.174: (牛肉と豚肉) No.175: (水引) No.176: (シベリア抑留) No.177: (新撰組)
- No.178: (キタとミナミ) No.179: (船名と艦名) No.180: (倭寇) No.181: (軍艦政務消失事件) No.182: (六道珍皇寺)
- No.183(東京駅の成立立ち) No.184 (チャップリン暗殺計画)
- 2020年度: No.185: (新幹線ドクターイエロー) No.186: (大化の改新) No.187: (上戸と下戸) No.188: (三重県は何地方)
- No.189: (梅田歩道橋と浅草雷門) No.190: (壬申の乱) No.191: (大阪環状線) No.192: (灘と伏見) No.193: (ブルートレイン)
- No.194: (水軍) No.195: (天王寺七坂) No.196: (東京裁判) No.197: (日本の頑固) No.198: (金と銀) No.199: (ハル・ノート)
- No.200: (天王山と関ヶ原) No.201: (日本四分割統治計画) No.202: (スパイス) No.203: (ものの始まり何でも堺)
- No.204: (城の石垣) No.205: (徳利と盃) No.206: (チーズ) No.207: (ゼロの発見) No.208: (ネクタイ)
- 2021年度: No.209: (年度の始まり) No.210: (東京大阪京都嫌い) No.211: (琵琶湖疎水) No.212: (大阪とソース) No.213: (大日本どこぞ)
- No.214: (切子ガラス) No.215: (ノモンハン事件) No.216: (仏教の語源) No.217: (南京攻略戦) No.218: (SP) No.219: (真珠湾攻撃)
- No.220: (物の教え方) No.221: (ミッドウェイ海戦) No.222: (平将門と神田明神) No.223: (ガダルカナル攻防戦) No.224: (孝明天皇毒殺説?)
- No.225: (インパール作戦) No.226: (芸者と芸妓と舞妓) No.227: (沖縄地上戦) No.228: (幕末の金銀流失) No.229: (本土空爆と原爆投下)
- No.230: (明治ゲルマン紙幣) No.231: (北海道の開拓) No.232: (アメリカ合衆国の成り立ち)
- 2022年度: No.233: (日本の人口の時代推移) No.234: (北大路魯山人) No.235: (一休さん) No.236: (古地図と武鑑) No.237: (適塾)
- No.238: (兵庫と神戸) No.239: (江戸府内と関八州) No.240: (日英同盟) No.241: (髭(ひげ) No.242: (戒名と法名) No.243: (厄(やく)
- No.244: (警察と検察) No.245: (幻の京阪梅田線) No.246: (パークスとロッジ) No.247: (日本の俘虜収容所) No.248: (七福神と干支守護神)
- No.249: (新幹線とハイライト) No.250: (鳥居) No.251: (M資金) No.252: (鎌倉幕府と平家政権) No.253: (ヒットラー暗殺計画)
- No.254: (公安警察) No.255: (東大生光クラブ事件)

(裏面あり)

東海道本線の開通 : (No.44 (国鉄の本線名)、No.183 (東京駅の成立)ご参照)。

京阪神開業(京都～大阪～神戸) : 明治 10(1877)年 2 月 6 日、開通(官設)。京都～大阪～神戸間。

東海道本線(新橋～神戸) : 明治 22(1889)年 7 月 1 日、開通(官設)、新橋汐留～神戸間。

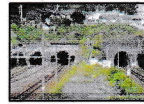
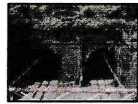
東京駅開設(東京～神戸) : 大正 3(1914)年 12 月 20 日、東京駅開業(官設)、東京～神戸間。

東山・逢坂山トンネル、丹那トンネル開通前の東海道本線 : (何れも、大きく迂回していた)。

東山・逢坂山トンネル : 大津～山科間 : 明治 13

(1880)年 6 月 1 日開通(官設)、それ迄は、大津～

稲荷(現奈良線)～京都、逢坂山と東山の地質が不適でトンネルを避け迂回した。



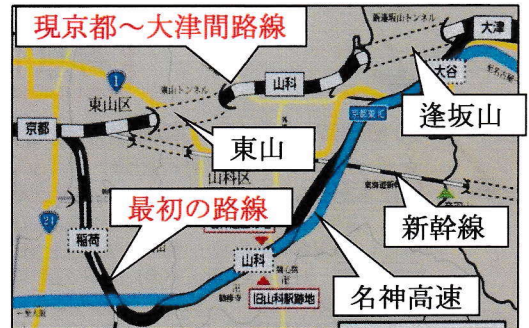
東山トンネル(旧) 同(現)

丹那トンネル : 熱海～函南 : 昭和 9(1934)年 12 月 1 日開通(官設)、それ迄



逢坂山トンネル(旧) 同(現)

は、国府津～御殿場(箱根 逢坂山トンネル)～沼津(現御殿場線)、活火山の箱根～伊豆天城に繋がる火山帯(丹那断層)で丹那盆地の地下は大量の水が溜まり湧出危険があり、当時の技術ではトンネル掘削は不可能であった。

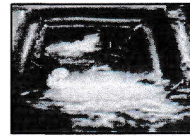


旧京都～大津間路線

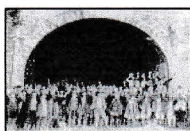
難工事の丹那トンネル : (全長 7,804m)。

着工 : 大正 7(1918)年 3 月 21

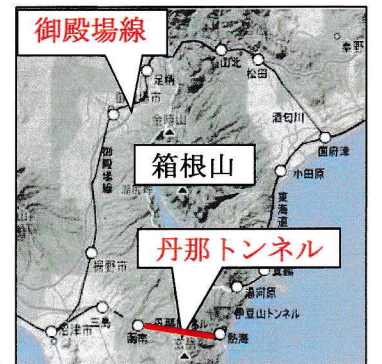
日、工事は鹿島組(現鹿島建設)が請負い、熱海側より着工、工事はカンテラ照明にツルハシでの手掘りで開始、後、蒸気機関の空気圧搾機の採用で作業効率向上、大正 10(1921)年、三島火力発電所、及び富士水力発電からの電力供給により電灯照明が使われる。



丹那トンネル(着工) 同(大量湧水)



丹那トンネル(貫通) 同(現在)



旧東海道線路線(現御殿場線)

大量湧水 : 丹那盆地の地質構造からトンネル掘削は大量の湧水との戦いとなり、湧水対策として多数の水抜き坑を掘り地下水を抜き、水抜き坑は全長 15km(本トンネルの 2 倍)、総排水量は 6 億立方メートル(芦ノ湖貯水量の 3 倍)に達す。

トンネル崩壊事故 : 大正 9(1920)年 4 月 1 日、熱海側口で崩落事故が発生、25 名死亡、17 名救出、大正 12(1923)年 2 月 10 日、三島側口で崩落事故が発生、16 名全員死亡す。

北伊豆地震 : 昭和 5(1930)年 11 月 26 日、北伊豆地震が発生、3 名死亡、2 名救出。

丹那盆地の水不足 : トンネルの真上の丹那盆地は、工事進捗につれ地下水が抜け水不足となり、稲作、ワサビ栽培の灌漑用水が確保出来ず、水源不足による農作物が枯れ、農地が荒れ、深刻な飢饉となり、鉄道省は水道敷設や貯水池新設を行なうも十分な効果上がらず、昭和 8(1933)年 8 月、鉄道省は見舞金 117 万 5000 円を交付、現在でも、丹那トンネルからは大量の地下水が抜け続け、丹那盆地は豊富な湧水が失われ、湿田が乾田となり、ワサビ沢が消滅し、酪農が主要となっている。



開通 : 昭和 8(1933)年 6 月 19 日、貫通、同年 12 月 1 日、開業す。

丹那盆地(トンネル上)

工事期間 : 16 年。**総工費** : 2,600 万円(現 551 億円)。**犠牲者** : 67 名(熱海側 31 名・函南側 36 名)。

新丹那トンネル(東海道新幹線) : (丹那トンネルの北側 50m 並行 : 全長 7,959m)。

着工 : 昭和 16(1941)年 8 月、高速鉄道計画の弾丸列車計画に基づき着工、昭和 18(1943)年、戦況の悪化により中止される(No.71 (ゼロ戦と新幹線)ご参照)。

東海道新幹線 : 昭和 34(1959)年、途中中止のトンネルは東海道新幹線用に再利用で工事着工、昭和 39(1964)年 10 月 1 日、開通す。



新丹那トンネル(新幹線)